

立命館大学文学部卒業論文題目

哲学専攻

真の自由とは

久保内啓朗

哲学者の人生から見る生きる目的とは何か

加藤 優樹

精神分析から見るフロイト思想

石嶺 政行

イチローの哲学

川西 里奈

ジョルジュ・バタイユの《交流》communication

市川 博規

子どもの権利擁護

熊木 梨穂

中絶における許容範囲とは

稲本 優大

シヨールペンハウアーとインド哲学

小松 宏子

像と想像力

今村 亨

リバタリアン・バターナリズムにおける議論の複雑性

熊木 梨穂

西田哲学と十牛図から考える他者と同一になるとは

岩田 広丸

リバタリアンによる批判をもとに

白波瀬ゆう

アルド・レオポルドの土地倫理

上田 佳奈

舞踊する身体

新保 里沙

—技術的視点から捉える土地倫理—

上野 隆弘

ジョン・ロールズにおける正義の原理

鈴木 恵

理念の創造—科学の歴史的展開における経験の役割

梅澤 佳未

カント倫理学における「目的それ自体の定式」の射程

高木 裕貴

信仰に基づく輸血拒否と未成年の自己決定権

梅澤 佳未

リチャード・ローティの解釈学的転回

高木 鴻介

熟議民主主義において市民参加を促すことは可能か

榎本 優

市川浩の身体論からみる格闘技の身体

高田 雅則

レヴィナスにおける「自由」と「責任」

岡本かおり

「生まれてくる」子どもの遺伝子操作は行われて良

高野 保男

事後遡及的に性暴力は構築されるか

沖田 亮平

いののか?」生殖細胞遺伝子操作に関するリベラ

武田裕紀子

なぜ動物の福祉が配慮されるべきか—動物の道徳

尾谷 若菜

ル優生主義の再検討

竹本 桂士

的的地位をめぐる論争の検討

尾谷 若菜

人の遺伝子操作は許されるか?

竹本 桂士

フッサール現象学で問題となる独我論についての

考察

田中 禎子

人工妊娠中絶とパーソン論

中尾 香菜

カミュ論

仲林 翼

—不条理と反抗の哲学—

成田 慎也

ミシェル・フーコーの『これはパイプではない』

成田 慎也

における表象について

西川 友裕

『道徳の系譜』の第一論文「善と悪」・「よいとわるい」に対する考察

西川 友裕

専門分化する学問の意義

西澤 美咲

—フッサールの「生活世界」を手掛かりにして—

西澤 美咲

減数手術における障害を理由とした胎選別の倫理的是非

二宮 昌史

出生前選別と障害の悪さ—ジョン・ハリスの議論の再検討

平間 莉瑛

自己愛への処方箋

広嶋 杏平

アリストテレスのカテゴリー論

福島 正紀

ヒュームの道徳論と社会

牧 径太

人間は何を語りうるのか

増川 千紗

アドラーの個人心理学

三澤 佑理

—神経症とライフスタイルの関係性—

三井 和

ニーチェの思想

村木 大祐

ウォルツァー正戦論

柳川 耕平

—民間人保護の問題点—

山本 晃稔

未現的なものの現象学

山本 晃稔

元初的な思索家としてのヘラクレイトス

山本 晃稔

自然状態と文明社会における人間の善悪

——ルソーの考えをもとに—— 吉村 桃

パルメニデス真理への探求 石川 智子

ドゥルーズの「思考のイメージ」について 市川 大貴

教育人間学専攻

不登校から見る居場所概念の再検討

——精神分析理論を手掛かりとした内的世界を中心として—— 田中 徳将

自己肯定感について 中村香奈子

子どもの素を引き出す働きかけ

——野外活動実践からの考察—— 伊藤 恒介

3・11が問いかけているもの

——非現実的な生活環境を強いられて—— 伊藤 駿志

「人の上に立つ」者の資質

人間の攻撃性を克服するために 井戸 貴之

学校教育における部活動と指導者

——中学・高校における吹奏楽部の活動を通して—— 居原田博子

死の恐怖に関する教育人間学的考察

——A・デーケンにおける死の準備教育の思想を手掛かりに—— 内田亜沙美

三島由紀夫の自己愛と生き方

なぜ尽くそうと思うのか 太田 帆南

——贈与と交換の教育人間学的視点から—— 大野 彬良

自己の劣等認識について

——立命館大学文学部卒業論文題目—— 大野 樹里

観光を手段としたまちづくりによる地域振興

大学生が社会に出る前に抱く人間関係の不安についての一考察 奥田 貴文

発想力を身につける 言葉よりも大切なこと 川崎 裕太

——葛藤を通して見つけた父の愛—— 生きる意味の問い方についての一考察 川股真理子

語れるようになるということ 川本 彩加

ペットとしての犬の存在意義 木村 咲

人を惹き付ける「面白さ」とは 木村 亮介

日本の英語教育の抱える問題点について 久保 皓史

無気力状態からやる気生まれる心の動き 熊谷 猛

ロックと私 小泉 友貴

——ロックの歴史とドラマの変容—— 越 拓野

Be What I Am 人間形成における「共食」の意義 齋藤 将太

——家族との共食に関する考察を中心として—— 小樋 杏奈

部活動における人間形成 齋藤 将太

——学校教育を通しての自己一体感形成の可能性—— 佐々野美帆

フラの歴史 清水千菜美

信じるということ 清水 都織

「かたり」が紡ぎだす（わたし）とその構造 白崎 雄也

宮沢賢治の宗教観 末本 晶江

剣道における人間形成 芹澤 直靖

「人生という旅」についての一考察 平 瑠子

——G・マルセルと三木清の思想を手がかりとして—— 信頼は途切れながらも続くのです 高瀬 沙綾

——愛と癒しを育むもの—— 人と人との縁 多田 隆亮

ケアにおける人間観についての一考察 谷川 夏紀

——気遣いの問題に焦点づけて—— 地蔵信仰における人間学的考察 堤 理佐子

——弱き者への寄り添いと軽やかな手助け—— 夢の分析 戸田 真緒

学校図書館を捉え直す 中川 勝利

支えあって生きること 名和 拓哉

——コミュニケーションに焦点を当てて—— 学校と日本の食文化 西尾 真人

私が「わたし」である根拠 西中 大起

——「わたしらしく」いきるため—— 成熟するということ 二宮 遼

——ラカンにおける「身体」と「他者」の概念から—— 家族関係からみる自己 濱本あゆみ

サッカー競技者の試合前の心理状態の変化について 久積 洗輝

学校現場における「わかちあい」という心の在り方

～よりどころを必要とする生徒への援助を中心に～

福井みくる

10代の友だち関係

～ネット社会と現実社会の中で～

競技クイズ論

ことばとからだ

～竹内敏晴の思想を手がかりにして～

闘病を支えたもの

～私にとつての「微笑み」の意味について～

DV加害者支援の在り方

攻撃性と姉妹間におけるコンプレックスの関係

日々の幸せと情念についての考察

～アランの『幸福論』を手がかりとして～

心の声

～本当の私と出会うために～

環境による人格形成について

人間関係における嘘の役割についての一考察

思春期における信頼関係の形成

～中学校の生徒と教師のあり方を考える～

思春期・青年期の思いやり

孤独を陣地とした集団への関わり

学力を問い直す～学力のとらえ方と教師の役割

森山由実子

森山由実子

森山由実子

森山由実子

森山由実子

森山由実子

森山由実子

森山由実子

二つの震災と心の復興支援

～中学生・高校生に焦点を当てて～

かなしみを生きるということ

～竹内整一思想を手掛かりにして～

野球時の心筋相関

スポーツにおけるパフォーマンスについての一考察

～スポーツと美的体験～

部活動を通じた自己形成と指導者の役割

～高校射撃部を例に～

心を鍛える教育

～新たな教育観へ向かう時代に希望を抱く～

大津いじめ自殺事件と第三者委員会報告書

～いじめ問題と実践的課題～

夏目漱石『坊っちゃん』を読む

天命を顕現する教育の探究

～シユタイナー思想と教育からのアプローチ～

山崎 学

中島敦「小笠原紀行」論

寺山修司「田園に死す」論

宮部みゆき「理由」論

森絵都「カラフル」論

神山健治『009 RE:CYBORG』論

宮崎駿『もののけ姫』論

日並皇子嬪宮挽歌に表れる人麻呂の意図

平安朝文学における「橘」論

遠藤周作『悲しみの歌』論

『源氏物語』にみられる「星」の描写

安部公房『第四間水期』論

安岡章太郎「ガラスの靴」論——受話器をはなす

ずに「待つ」ということ

吉本ばなな「TUGUMI つぐみ」論

吉本隆明『共同幻想論』論

芥川龍之介「魔術」論

～万能的優越感による人格の変化に関する考察～

『万葉集』笠女郎 作品研究

寺山修司『田園に死す』論

万葉集巻二 巻頭歌論

大岡昇平「捉まるまで」論

押井守論

山姥・金太郎像の変容

わらべうた「かごめかごめ」考

～その変遷と比較～

近松秋江「黒髪」論

『枕草子』の不興表現

徳永 大輔

小西 結

秋本 千明

安土 知杏

雨堤 翔吾

荒川 奈穂

飯田満理弥

石田 彩華

井上智香子

今川未紅瑠

岩本 知恵

植野恵理奈

上本 浩之

白居 千種

弁天小僧とお嬢吉三	加藤 けい	『夜の寝覚』における但馬守三女の役割	菅 真梨子
『風の谷のナウシカ』における自然と人類の関わりと共存	金川 凌子	安部公房「人魚伝」論	清家 加衣
大庭みな子「山姥の微笑」論—女と男の関係を中心に	木坂 円香	動物が絵から抜け出る伝承について	高瀬麻里子
江戸時代の葛の葉	北濱 莉那	『浜松中納言物語』における「転生」についての考察	高槻 侑吾
山田風太郎『明治断頭台』論	木原 将貴	漢字文化圏における語彙交流	武長 佑輔
劇場版『美少女戦士セーラーMoonR』論	木村 愛美	太宰治「浦島さん」論	田中 小春
和語・漢語・外来語の使い分け	清原 淑芳	安部公房『赤い繭』論	玉置 涉悟
『大鏡』時平伝から見る菅原道真	熊野 文香	『大鏡』「道長伝」についての考察	津嶋 恭平
〈龍神〉地震説の生成	児島 啓祐	—「師輔伝」と比較して—	津田 結子
—元暦地震をめぐる—	小谷 樹生	平安時代の琵琶に関する考証	土井田楨子
種田山頭火『草木塔』の構成意識	壽 俊哉	『とはすがたり』論	中尾 律加
古事記スサノヲ巨人神論	小林 央絵	『小栗判官』考	中川 珠恵
古事記・黄泉國訪問神話考	合田柚香子	村上春樹「スプートニクの恋人」論	中川 珠恵
金鶴伝説	坂本志緒梨	辻村深月「ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。」における	永井 晶子
—その成立への考察—	榊原 啓人	—母娘問題について—	
映画『クレヨンしんちゃんオトナ帝国の逆襲!』論	櫻井 涼香	羽衣伝説の研究	長野 裕子
—ノスタルジーに浸る人々—	佐竹 莉奈	—「伊香小江の羽衣」を中心に—	
万葉集巻頭歌の意義とその考察	佐藤 和泉	宮澤賢治「ポラーノの広場」論	永安 美穂
吉行淳之介「雙生」論	島田さつき	—レオノ・キューストの孤独—	
三島由紀夫「翼」論	柴田翔「彼方の声」論	—説話と表現—	永山 萌恵
隠れ里伝承の研究	志賀直哉「赤西蠣太」—登場人物の名付けについて	宮沢賢治「水仙月の四日」論	西尾奈緒美
—その目的と意図—	面脇 夏生	形状詞「みたい」の研究	西嶋 昌之
舞城王太郎『ピッチマゲネット』論		柴田翔「彼方の声」論	西村 興明
『大鏡』研究		志賀直哉「赤西蠣太」—登場人物の名付けについて	
—藤原道長の栄華—		高橋たか子「誘惑者」論	宮田 絵里
		『竹取物語』における「天の羽衣」考	野島 佳織
		「抜け絵馬伝説」の研究	野田 春菜
		『夜の寝覚』の造形	
		—中の君について—	野原 裕人
		伊賀越道中双六『沼津』考	野村 未有
		『大鏡』における藤原道兼の人物像	華山 真侑
		金城一紀『GO』論	濱田 祐輔
		『大鏡』における子孫の「繁栄」	早川 リサ
		『桂川連理柵』考	林 由希子
		江戸後期における玉藻前もの	馬場いくみ
		村上春樹『アフターダーク』論	平川 恵美
		首切れ馬伝承	
		—主に徳島県の事例の特徴—	福井 志歩
		包丁と怪異についての一考察	福田 千恵
		泣血哀慟歌論	藤川 雅也
		庄司薫『赤頭巾ちゃん気をつけて』論	藤原 拓哉
		『大鏡』における小野宮流についての研究	
		教材としての『大鏡』	細川 有沙
		意味が重複しているとされる表現について	前田 浩光
		同表記異語の研究	増田 叡史
		『夜の寝覚』論	水野 平
		宮崎駿『となりのトトロ』における自然観	美根 大紀
		辻村深月『凍りのくじら』論	三宅あゆみ
		「岡本天皇御製一首并短歌」の性格	宮崎 智也
		高橋たか子「誘惑者」論	宮下 晃嗣
			宮田 絵里

婦人戦線広告考

森島 啓

莫言の小説のマジックリアリズムの特徴

英米文学専攻

加賀乙彦『フランドルの冬』論

八尾 彰一

魯迅の日本留学時代から

今村 洋介

形容詞「やばい」における用法調査

山口真希子

救国の道のゆくえー

内田 郁巳

伊坂幸太郎『ゴールデンスランバー』論

山中 美和

幾米作品『躲进世界的角落』を中心とした幾米作

Frankenstein における創造主と被造物の関係性

『番町皿屋敷』を読む

吉井 優実

品研究

江島 未夏

Alice's Adventures in Wonderland におけるアリ

『三重の采女物語論』

吉田 有希

品研究

岡安 洋介

The Faerie Queene における Britomart とエリザ

—「コロロコロロ」をめぐる—

吉田 有希

品研究

黒野 沙織

The Faerie Queene における Britomart とエリザ

太宰治「女生徒」

吉原 栄美

品研究

神野 彩子

William Blake の Songs of Innocence and of

—混在する「私」、人間の姿〈汚さ〉と〈美しさ〉の

吉原 栄美

品研究

白石 有貴

Experience における無心

本質—

吉原 栄美

品研究

菅野 絢子

Macbeth における William Shakespeare のジェ

東海道中膝栗毛 弥次郎兵衛 喜多八 考

渡邊 彩乃

品研究

鈴木 康人

Romeo and Juliet における決闘—悲劇性との関連

小川未明「赤い蠟燭と人魚」論

林 アルム

品研究

千代延暁子

Female Sexuality and Witches in Thomas

## NG YIKTUNG EDITH

坂口安吾「白痴」における伊沢の心境について

林 アルム

品研究

辻野 早紀

Middleton's The Witch

澁澤龍彦「ねむり姫」論

内山 徳隆

品研究

中村 彩

Romeo and Juliet における言葉遊び

—引用と構造を中心に—

内山 徳隆

品研究

二川 奈央

of the Shrew における父権制社会

「泣不動」説話に関する考察

片山 沙織

品研究

前田 大徳

The Importance of Being Earnest における虚構

—『曾我物語』を中心に—

片山 沙織

品研究

村坂 彩乃

と現実

## 中国文学専攻

## 中国文学専攻

村坂 彩乃

品研究

森川 育子

William Shakespeare の A Midsummer Night's

## 韓愈研究

吉崎 早織

品研究

八島 花帆

Dream における祭りの効果

—文学的思想と古文復興に対する考察—

吉崎 早織

品研究

花帆 悠

Macbeth の魔女

『荀子』議兵篇からみえる荀子の軍事論

石川 毅

品研究

柳 知直

William Shakespeare の Antony and Cleopatra

「柳毅伝」考

石川 毅

品研究

柳 知直

における Cleopatra の演技性

—銭塘君の記述を中心に—

今田 瑠莉

品研究

今田 瑠莉

Jane Eyre における父権制とキリスト教

- William Shakespeare の *Richard III* における悪の問題 知名 広子
- Oscar Wilde の *The Picture of Dorian Gray* におけるダンテイズム 塚本真梨子
- A Midsummer Night's Dream* における妖精 Puck の役割 中川 まみ
- Pygmalion における女性の自立 シュエイクスピアのユダヤ人観—*The Merchant of Venice* を中心に 西 貞臣
- A Christmas Carol* と「飢餓の1840年代」 藤井 綾子
- Doctor Faustus* における異化作用 宮川 葉子
- The Picture of Dorian Gray* における Oscar Wilde の芸術論 物部 朱夏
- Romeo and Juliet* における時間と悲劇性の関係 森田 尚似
- ピーター・パン像の変遷 木下 友子
- Raymond Carver の短編作品から作品を読む —"Cathedral," "A Small, Good Thing," "So Much Water So Close to Home"について— 粥川 徳人
- Bram Stoker の *Dracula* について 山下 未央
- The Casual Vacancy* における空白についての考察 池上 大貴
- Toni Morrison, *The Bluest Eye* 研究 — Claudia が辿り着いた真実 — 石田 季子
- The Bluest Eye* 研究—美醜の問題について 大谷 桂輔
- Little Women* における Louisa May Alcott の家族観 大出 彩
- William Faulkner の *The Sound and the Fury* 論 —「意識の流れ」によって表象されるもの— 片山 涼
- The Speed of the Dark* における家族と「存在」 谷口あかり
- The Left Hand of Darkness* におけるユートピア論 樽口 裕美
- Oscar Wilde の *The Picture of Dorian Gray* について—ドリアンと肖像画の関係— 黛ルワース美佳マアリー
- Mark Twain の *Adventures of Huckleberry Finn* におけるハックの成長について 中谷 彩乃
- An American Tragedy* にみる Dreiser の悲劇観 —一人の青年の死が暗示すること— 中村 幸加
- The Great Gatsby* における女性たちについて 長崎 美奈
- Raymond Carver の短編作品における考察 根岸 亜美
- Kate Chopin の *The Awakening* におけるエドナ の死について 野口 真虹
- Oscar Wilde の *The Picture of Dorian Gray* における肖像画の変化について 萩原あゆ美
- The World According to Garp* におけるメタフィクション性について 藤居 賢
- Graham Greene の *The End of the Affair* における語りの考察 前田万紀子
- Mark Twain の No. 44, *The Mysterious Stranger* における良心について 水嶋 彩乃
- Toni Morrison の *Sula* における「悪」について 宮川 友見
- Toni Morrison, *The Bluest Eye* 研究 —*The Bluest Eye* における共同体と個人との関係性について— 米澤 春奈
- The Crucible* におけるピューリタン社会の抑圧について 鷺澤菜緒美
- Robert Louis Stevenson, *The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde* について 朝倉 幸平
- Frankenstein or The Modern Prometheus* 研究 —「フランケンシュタイン」における植民地主義への警告— 安達 千尋
- Angela Carter's *Book of Fairy Tales* 研究 稲本江里子
- Kate Chopin の *The Awakening* 研究 —エドナの自我形成について— 乾 有沙
- Jane Austen, *Pride and Prejudice* 研究 —Elizabeth の考えた理想の結婚— 岩間 愛里
- Mary Norton の *The Borrowers* 研究 梅谷 優菜
- Jane Eyre 研究 大川 真依
- ジェーンの社会に対する挑戦—
- Angela Carter's *Book of Fairy Tales* 研究 —幸せをいかにするための条件— 小川 真佑
- Angela Carter の *The Bloody Chamber* 研究 モチーフを通して Carter が伝えたかったこと 小川由梨香

## Little Women 研究

— Little Women をおとぎ話の枠組みで読む —

奥田 京

Bram Stoker の Dracula 研究 ドラキュラ伯爵

の曖昧さという魅力 北川 智弓

David, Garnett. Pocahontas or The Nonparell of

Virginia 研究 — ポカホンタスの魅力 北野 彩佳

Alice's Adventures in Wonderland 研究 来村 和樹

The New York Trilogy 研究 衣川 彩乃

Frankenstein or; The Modern Prometheus 研究

— 怪物について孤独とはなにか 小林 可奈

Alice's Adventures in Wonderland 研究 齋藤 美沙

The Heart is a Lonely Hunter 研究

— 孤独から見る物語の一方通行性 — 田代俊太郎

Barrie, J.M. の Peter Pan について

— 「大人になりたくない少年」のピーター・パンに 多田 彩香

ついて

The Strange Case Of Dr. Jekyll And Mr. Hyde 研究

究 — 嫌悪感の正体について — 西島 愛

William Bernard McCarthy の Cinderella in

America: A Book of Folk and Fairy Tales 研究

野田ゆかり

The Great Gatsby 研究

藤井 一哉

Their Eyes Were Watching God 研究

— 黒人女性としてのアイデンティティと自由 — 藤島亜里沙

『オズの魔法使い』研究

村田侑加理

## Uncle Tom's Cabin 研究

— 女性を通して見る奴隷制

Peter Pan and Wendy 研究

Gone With the Wind 研究

— ミッチェルが本当に描きたかったもの 脇坂紀久子

アフリカ系アメリカ人話研究 中澤 諒

The postmodernism aspects in Moon Palace

written by Paul Auster.

— The new way to find the world and identity —

Figures Affected on Edna's Dual Personality and

Death In The Awakening by Kate Chopin

Each character's role and what Alice learns

from them: 柏岡 巴

reading Alice in Wonderland by Lewis Carroll

高岡 佑衣

The Comparison of immigrants issues in Alice

Pung's Unpolished Gem and Amy Tan's The

Joy Luck Club. 谷野 圭亮

The significance of blood relationship in Amy

Tan's The Joy Luck Club 袴田 桃子

Oscar Wilde's The Picture of Dorian Gray:

Causal relationship between Dorian's

friendships and his decadence 光井 祐貴

What makes Little Women by Louisa May

Alcott a lovable book among generation to

generation 山野絵里菜

generation 山野絵里菜

## 七八

## 刑罰と責任

松井 謙太

関係節を含む英文の、日本語訳についての考察

元永 泰輔

日英語における発話時のアクセントの比較研究

— 英語学習者のために — 菅野 道生

二重目的語構文について 岡田 祥佳

再帰代名詞の生起条件について 塩田 圭織

分裂文と擬似分裂文の違いについて 瀬藤美彩希

結果構文について 都築 誠生

英語における曖昧性の解釈とその解消 寺本 雄太

冠詞選択の基準 中島 涼輔

名詞句内における Head の判別方法 羽川 英里

受動文に交替可能な動詞 吉田 真梨

結果構文の意味・統語的特徴に対する考察 松島 弘敏

第二言語習得についての考察 藤田 一樹

日本史学専攻

律令制下の渡来人賜姓について 原口恵理菜

文学に描かれた戦後の賭博 小田 和樹

— 寺山修司、阿佐田哲也を中心に —

鶴岡八幡宮初代二十五坊供僧と平家一門の関係 馬場満知子

江戸時代における酒と儀礼 前島 太一

朴珙滄の行動と思想 小林 溪

— 朴珙滄史料と日本外交文書を中心に —

江戸の広告事業 相徳雄二郎

相徳雄二郎

- 中世における禪宗の発展 浦邊 悠貴  
 台湾における武徳会塩田 大司 浩之  
 近世農村における女大学 佐藤 魁紀  
 皇の継承システムの成立  
 ↳ 継体朝前後の即位事情の考察と現在の皇位継承問題の究明 高島 郁一  
 室町幕府・大内氏の撰銭令の再評価 原 周右  
 一九五〇年代における中国料理の普及について 南川 啓介  
 料理記事を中心に 伊賀 順平  
 満州の陰謀者河本大作の戦後について 石川 貴之  
 桓武朝宮内出土軒瓦についての考察 上田 裕加  
 登り窯を生かす 上野 嵩弥  
 ↳ 五条坂・道仙化学製陶所を事例に― 黄幡 陸己  
 ↳ 荒尾南遺跡と柿田遺跡を事例として― 陸己 陸己  
 修身教育が戦後社会に与えた思想的影響 大上 満  
 戦間期における航空技術の変遷 大神 眞  
 近代日本における軍刀への意識 大垣 満美  
 『太平記』にみる死の意識 岡部 花梨  
 獣骨出土点数からみたイノシシ飼育説の検討 岡本 萌  
 『言継卿記』にみる山科言継と医療 奥村 汀  
 中世後期公家における家妻の役割 尾関 雅也  
 20世紀初頭における乗り物博覧会の展開 風間 健  
 丸山眞男の思想 加田 瑞穂  
 江戸時代における砂糖・菓子 加田 瑞穂  
 ↳ 砂糖の輸入・国産化と普及について― 加田 瑞穂
- 部位別出土点数から見た土偶の故意的破壊説の検討 門脇 瞳子  
 磨石の人為的摩耗痕 金岡 宏実  
 足利義持及び足利義教の將軍権力について 加納 由樹  
 白薔薇の現実回帰 ネオ・ヴィジュアル系の場合 紙本 祐佳  
 平安〜鎌倉期における末法思想の受容意識 萱野 有紀  
 二十一世紀の文化財活用の方 川本 康太  
 ↳ Webの活用による財源確保― 楠 充人  
 近世初期における松前藩と蝦夷地の関係について 車谷 航  
 明応の政変前後における越前朝倉氏の政治的向背 黒木 雄太  
 ↳ 細川政元との関係から― 河野 稜平  
 安土宗論にみる織田信長と法華宗の関係について 高山 浩和  
 城郭の変遷と大和国 知られざる「鉄道王」の素顔 小西 晴菜  
 ↳ 新聞記事を中心にみる根津嘉一郎の政治活動― 小西 晴菜  
 青い目に映る「真実」 青い目に映る「真実」 後藤 誠貴  
 ↳ 来日外国人が見た明治期の日本人像・再考― 後藤 悠也  
 ゴールキーパーの存在価値の飛躍 後藤 悠也  
 ↳ サッカー漫画『キャプテン翼』の影響力― 後藤 悠也
- 源頼朝の官位観について 後藤 悠也
- 近代日本キリスト者の規範意識に関する一考察 榎原 徹  
 ↳ 酒井勝軍の「天皇メシア論」を中心に― 榎原 徹  
 ストリートミュージックから見る一九九〇年代・二〇〇〇年代 坂田 尚樹  
 大日本帝国憲法から日本国憲法移行に伴う国体変更論争の考察 坂本 航平  
 立山信仰と女性 島瀧 祥子  
 貴族院の道徳観 末永 空夢  
 ↳ 競馬法案と未成年者飲酒禁止法案を中心に― 末永 空夢  
 遺跡の推定人口に基づく縄文時代から弥生時代に 鈴木 啓介  
 かけての社会組織の変化 瀨川 葵  
 甲賀地域の小規模領主と信仰との関わりについて 高西紗佑里  
 まだ見ぬ食文化との出会いの中で 高野 一行  
 ↳ 幕末維新留学生と西洋料理― 高野 一行  
 東北に羽ばたいた勇氣 高橋 いづみ  
 ↳ 復興のシンボル東北楽天ゴールデンイーグルス 高橋 勝幸  
 一九五〇年〜 現代子育て観の歴史 高橋 悠  
 検非違使による「河」「路」の管理 高橋 悠  
 琵琶湖岸における丸木舟出土状況の解釈 高橋 悠  
 教員の精神 竹林 悠  
 ↳ 近代学校教員の実態から― 竹林 悠  
 中世期における番匠の研究 坪倉 昂平  
 ↳ 興福寺修理目代との関係を中心に― 坪倉 昂平  
 近江における蒲生氏の動向について 徳田 淳

舶来動物は江戸に何をもたらしたのか

—鳥類と大名の関係を中心に見て見る— 戸田 萌美

九州における装飾古墳についての考察 富永由香理

二・二六事件を同時代人はどう捉えたか 中西 諒太

中世における天狗を読み解く 中野 亜矢

近代友禅図案の考古学的研究

—立命館大学所蔵友禅図案6群資料を中心に—

永井はる奈

日本文化の中の源頼朝 永峰 古都

元弘の乱における大塔宮護良親王の軍事行動につ

いて 成瀬 智美

縄文時代における犬食の可能性 西田 留実

江戸時代大奥女中の政治的影響力 西村 晴奈

—田沼時代と寛政改革期の比較—

高度経済成長期における舞鶴港の開港 西森 直人

—革新首長の政策とその意義— 橋詰 彩乃

白山の祭神とその変遷 橋爪 健

日系三世四世から見た新しい日系人像

—ブラジルから見えてくるもの—

中近世移行期における伊勢神宮遷宮前後相論につ

いて 濱村陽太郎

国衆における郡内小山田氏の政治的役割について 林部 春輝

生類憐みの令の意義

—正徳期以降への影響という視点から— 原田 直哉

東山山荘の造営をめぐる

—労働力・費用面からみる— 藤川 美咲

聖武天皇の仏教政策と東国行幸 藤木 愛加

大相撲から見る当時の日本が目指したものについて

本田 蒔

清水登之と戦争 増山 遼

近世村落社会の書物受容者 松岡 知世

職業婦人とモダン 黛 英莉子

足利義満の葬儀と追善仏事 丸山 英里

かわいいとは何か

—岡山心拳の仔犬画をめぐる— 宮本千奈美

倭製内行花文鏡の研究 向井 賢

南北朝動乱期における南河内地域諸寺院の動向 武藤 誠治

江戸時代の金魚

—中国からの伝来と日本における金魚文化の成立— 武藤 裕貴

縄文時代後晩期における石川県南部の石器組成 望月 麻佑

中世土師器皿製作技法の考察

—製作実験による切り込み円板技法の検討— 薬師 陽香

『団団珍聞』の風刺画に込められた描き手の意識

—新聞政策を描いた風刺画から— 安田 翔亮

江戸時代元禄期以降の女性 安富 聖至

女性がスポーツに目覚めた瞬間

—女子スポーツから見る日本のジェンダー— 山崎 晴代

織田信長と馬

—京都馬揃えを中心に— 山中 祐司

近世後期における秋月街道の実態

山本 歩

—田川郡を中心に—

中近世移行期から近世初期島津家の政治体制

—家臣団構成の変遷と琉球出兵— (副題)「中近

世移行期から近世初期の島津家近世大名体制への変

化開始時期とは」 横山 潤

昭和初期に於ける大川周明の思想 吉松 大将

中世の都市空間と千僧御読経

—王権と鎮護国家思想— 大谷 光司

寺刹令の再検討

—韓国の研究から— 朴 柱元

### 東洋史学専攻

伝統中国の保存食について

—斉民要術を中心に— 横関 聡

中国近現代経済史 谷 祥吾

辛亥革命期から日中戦争時における中国の対日観

西太后の生涯 義和団事件から西安への逃避行ま

でを中心に 府川 大樹

初期フランク王国における王権の性格

—クローヴィスの時代を中心に— 梅野 暉展

17世紀におけるロシアと清の軍事衝突について

田中 祐馬

日中戦争について 種川 豊

絹馬交易 湯浅 達矢

—求められた絹と馬— 岡 将史

明代の庭園

～蘇州・拙政園～

安藝 千尋

南宋初期の政治

奈良 暁

西洋史学専攻

中国明代における北京紫禁城の都市計画

中国古代における衣料文化について

早瀬 昌子

ユダヤ人問題をどう見るか

國見 泰夫

明末の山人について

浅井 更紗

唐朝初期の対突厥対策

比嘉 文音

ユダヤ人憎悪のかたち

李 晶順

後漢の揺銭樹について

安谷屋寿々

天安門事件について

東谷 健吾

中世フランスにおける色彩イメージ—青の変化

石川 絵理

国共内戦

阿邊恵理子

王安石の対外政策

古田 智暉

紅頂商人胡雪岩と清末の社会情勢

堀池 夏樹

—国民党はなぜ敗れたか—

石倉 周

東晋における州都督の機能、および將軍号との関係

前田 拡

ネロ帝の「結婚」に見る帝政初期の人的結合

宇佐美香織

辛亥革命以後の漢民族と多民族について

伊藤 拓規

毛沢東研究

松波 知希

機械時計の発展と産業革命の精神

—機械思想が近代思想に与えた影響—

『日書』における世界観

惠比根祐子

青幫と杜月笙

松林 諒真

19世紀イギリスにおける中流階級の生活文化

岡田 彩華

宋代の柑橘栽培

川端 美咲

秦相邦の役割と秦の外交政策の変遷

宮口 広夢

—その中みる女性像—

テオドシウス2世とウァレンティニアヌス3世…

—『橘録』考察—

申原 一舟

東アジアの女神とその信仰

村雲 洋香

中世ヨーロッパにおける森と人間の関係

北田 莉菜

辛亥革命における孫文について

毛良 悠介

—『阮朝科挙とその影響を中心に—

森 亜姫子

「フランス人」になれないフランス人

—フランスのマグレブ系移民を中心に—

蘇東坡と酒

佐竹 拓哉

韓併合期の教育

森山 恭太

後漢時代における宦官文化

佐藤 綾美

蒋介石の対日観形成

山内 頌万

国共内戦期の社会

佐藤 有泰

中国の食文化

山本 竜大

第一回十字軍におけるユダヤ人迫害の精神について

兒玉 千佳

露清英関係とヤクブベク政権の外交—イリ事件と

柴田 勇人

匈奴における単于位継承について

和田 祐

—『北山酒経』を中心に—

末延 孝浩

—『阮朝科挙とその影響を中心に—

和田 祐

テオドシウス2世とウァレンティニアヌス3世…

東西2人の皇帝からみる後期ローマ帝国

—『北山酒経』を中心に—

白子 真理

—『阮朝科挙とその影響を中心に—

和田 祐

第一回十字軍におけるユダヤ人迫害の精神について

小林 純

—『北山酒経』を中心に—

末延 孝浩

—『阮朝科挙とその影響を中心に—

和田 祐

第一回十字軍におけるユダヤ人迫害の精神について

酒井隆一郎

危ない飛行機が明日も飛んでいく！アメリカ連邦

航空局の問題と航空機事故 備 鐘子

中世における紛争解決の手段の変遷

—ドイツを中心に— 高橋 祥子

現代日本における格安航空会社の変容…世界の航空事業と比較して

竹田 梨絵

19世紀中葉における小売商業「近代化」論の再評価

—19世紀マンチェスターの労働者から— 竹脇 理

「帝国」とカナダらしさ

—帝国記念日のバンフレットを中心に— 田中 敦子

潜在的敵対国から見る国際関係

—第一次世界大戦前におけるハプスブルク帝国Ⅱイ

タリア関係、ネオ・リアリズム「二極安定論」・「覇

権安定論」を通して— 田中 元貴

サガから見る中世アイスランドにおける紛争解決

田村 悠

他者としての魔女イメージの形成 辻 あずさ

シングル社会の到来？

—シングルライフの歴史的考察— 土肥なつみ

魔女と女性—キリスト教社会における他者

中 育未

北欧協力に見るスウェーデンの対外政策の狙い

西谷 悠

ヴィクトリア朝イギリスにおける「伝統」の誕生

—理想的イギリス人像と国民意識— 丹羽香緒里

中世西ヨーロッパ世界における黄色の利用と機能

羽場 千華

ソ連における非公式芸術の世界…イリヤ・カバコ

フの芸術から見た一九六〇～八〇年代のソ連社

会 濱野 直樹

17—19世紀イギリス帝国における従属植民地アイ

ルランド 濱野 友貴

マグレブ系移民第二世代の文化的自己表現にみる

フランス社会の変容 春田ひかり

イギリス帝国における建艦競争

—ロンドン商業会議所の海軍増強運動から見た

一八八〇～一九一四年の帝国政策と社会— 松井 俊貴

アメリカ先住民教育の歴史的展開と多文化教育の

必要性 松葉奈緒子

20世紀初頭におけるデイズニー映画と子どもたち

三上 真奈

抵抗と社会

—エーデルヴァイス海賊団の戦後評価から—

パリとニューヨークにおける交通の発展と都市景

観の変遷 森 俊勝

近代ドイツ市民の教養理念から読み解く、現代日

本の教養 安居 勇人

アメリカ社会における階層と黒人差別…貧困とイ

メージに注目して 安田奈寿美

19世紀初頭イギリス犯罪への嗜好

—ある事件報道から— 山下 美紀

近代ヨーロッパの工業化にみるビール商品化

横山 暉

Considerations on educational history and

support for education in Myanmar 吉田 美咲

冷戦期アメリカの宇宙開発技術者…アポロを生ん

だNASAの技術文化 泉 亮太郎

ヨーロッパにおける女性の社会進出とピアノ…ピア

ノ産業の発展とピアノ教育を通じて 決得 華子

ヴィクトリア朝におけるミステリー小説の誕生

山里 真矢

## 地理学専攻

微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)について 徳永 貴裕

京都市におけるシングル女性の居住地選択

田中 博明

旅行情報誌による神戸市の「街」の表象

毛受 寛貴

京都市都心部における分譲マンション供給の変化

—コンパクトマンションに着目して— 小澤 岳

京都府長岡京市におけるコンビニエンスストアの

立地展開 小山 亮

歴史的建築物を有する地域のまちづくりの展望

—京町屋の有用性と錦市場— 讀井 章

公共交通空白地域のバス路線開設に関する考察

—松原市天美北地区を例に— 武田隆太郎

京都府内における地域ブランド戦略

—京野菜を事例として— 仲本 早妃

山村地域における農業を利用した地域振興

—和歌山県紀の川市を事例として— 細野 佑介

タウン情報誌から読み解く避暑地「軽井沢」の場  
所イメージ

—高原誌『軽井沢ヴィネット』の分析をもとに—

前田 一馬

大規模小売店舗の立地展開

—京都市南部を事例として—

松元 晴菜

兵庫県南部地震による被災域住民の防災意識

—豊中市を中心に—

宮滝 徹平

伏見、淀城下町から見る豊臣政権と江戸幕府の都

市計画

森田 智哉

明治期の神戸におけるベストの空間的拡散

星本 真季

人口流動から見た京阪神大都市圏における都市圏

多核化の考察

朝日 敬俊

京都市のスポーツクラブにおける分布図と今後の

展望

阿部 翔太

地すべり地における土地被覆の変遷

—日本における変化類型モデルの構築— 阿部みゆき

生活支援バスの運行による地域住民の生活変化

—京都市東山区今熊野を対象に—

網 優子

認知症をもつ高齢者の生活空間及び日常行動に関

する研究

安藤 尚世

千里ニュータウンにおける住宅の建て替えと住民

構成の変化

石井 美聡

大都市周辺部における空間の変容

—京都市八幡市を事例として—

市川 賢

愛知県豊田市における企業城下町の体質の変容

—京都市下京区を対象に—

岩澤 友太

メディアが及ぼす地域観光への影響について  
—高知における大河ドラマを事例に— 内田 一咲  
道の駅の立地と存続  
—京都府を事例に— 梅沢 友希  
京都七条新地における「遊客」の属性に関する  
社会・空間的分析  
—昭和22年2月～10月の「遊客人名簿」を用いて—

校歌から見る地域の自然環境イメージの考察  
—石川県加賀地方中南部を例に— 円満 一成

奈良県五條新町における、重伝建地区の変容と課題  
大喜多保男

兵庫県神戸市中央区のまちづくりとメディア  
イメージ 大谷 祐司

基礎自治体における一般廃棄物処理事業の地理的  
特性 大政 知也

—大阪府を事例として— 神鍋高原スキー場における民宿の立地と発展  
岡本 幸士

個人属性ごとの消費行動からみた大都市圏の構造  
の変化 岡森 美咲

—大阪府を事例として— 日本におけるトマト生産地域の成立とトマト食習  
慣の定着について 小川 董

—明治後期から昭和戦前期を中心として— マンション立地に伴う近隣商業機能の変化  
—京都市下京区を対象に— 小幡 真人

漁業集落における限界性についての一考察  
—三重県南部旧南島町を事例として— 加藤 周  
一九八〇年代以降の地場産業の変遷と今後の展望  
—愛媛県今治市におけるタオル産業を事例として—

鴨川 希理

漁村における地域活性化に関する一考察  
—間人ガニのブランド化を事例として— 木村 康一

コインパーキングの立地展開  
—京都市上京区を事例として— 黒田 尚武

近郊農業地域の発展における産地市場と仲買業者  
の有用性 小山 諒

—埼玉県深谷市を事例として— 口蹄疫による家畜の被害と生産地再生  
—二〇一〇年宮崎県を事例として— 合屋 啓

大都市圏郊外における駅前商業集積地の研究  
—東京都武蔵野市吉祥寺駅周辺を事例として— 佐名木 翔

都市空間におけるファッション・エリアの形成・  
立地 佐野 敬

—神戸・元町地区を対象として— 大型小売店の立地を契機とする周辺商店街への影  
響・変化 島中 崇良

—中京区西新道錦会商店街を事例に— 大学生の食生活に対する意識と購買行動に関する  
研究 下田 華奈

栃木県北部の温泉における混浴共同浴場の現状と課題

―塩原温泉を中心に― 鈴木 悠太

大型小売店による周辺地域への影響

―京都府亀岡市を事例として― 諏訪 淳也

高齢者のウォークビリティと地域特性

―京都市東山区を対象地域に― 瀬川 博文

京都市の大学周辺における学生の居住地選好

―立命館大学生を事例として― 瀬川 耀子

地場産業が地域に及ぼす変化について

―岡山県倉敷市の繊維産業を事例に― 武本 祐樹

京都市における観光タクシーを利用した観光行動の空間的特性

―修学旅行生のタクシー研修を事例に― 館山えりか

大山崎山荘美術館設立に伴う地域環境保全の変化

谷口 佳穂

SD法を用いた京都市の観光地イメージの研究

谷口 真梨

鉄道駅周辺の放置自転車の現状とその発生要因について

淡越 諒

吉野川分水事業がもたらした農業水利への影響

―奈良県橿原市の事例― 鶴木 宏美

城下町への陸軍施設進出に伴う旧城域の変容と軍郷の形成

―明治期における福知山を事例に― 寺地誠太郎

京都市における大規模小売店の立地について

堂 充

ガス事業委託会社の空間的展開

―大阪ガス関連企業の営業・サービス事業に関して―

中島 一哉

錦市場の観光地化と今後の展望

―福岡県柳川市橋本を事例として―

中島 洋平

干拓地における土地所有と耕作地の分散について

―福岡県柳川市橋本を事例として―

中村孝二郎

京都の千本通りにおける商店街の商業地理的特性とまちづくり

―西京区、洛西・桂坂ニュータウンを比較して―

中山 結衣

地域活性化においてゆるキャラが持つ影響と問題

―酒蔵の街京都市伏見を事例として―

長濱 有香

京都市におけるニュータウンの現状と今後の展望

―西京区、洛西・桂坂ニュータウンを比較して―

鍋島 弘樹

地域活性化における「地域ブランド」の役割について

―酒蔵の街京都市伏見を事例として―

西家 隼人

アウトレットモールの立地展開

京都市における簡易宿泊施設の立地展開

沼 研太郎

草津市南部における住宅地立地とその要因

―選手名鑑を資料として―

橋川 ゆい

プロ野球選手にみる地域特性

―福岡都市圏を中心とした若者の情報メディア利用と行動の関係性―

畑本 翼

近畿地方における大規模小売店舗の立地分析

―福岡都市圏を中心とした若者の情報メディア利用と行動の関係性―

林 航太郎

原子力発電所立地への危機意識の距離の遞減性について

―高速増殖炉「もんじゅ」を基点として―

原田 裕輔

大規模地震発生地域における災害文化継承の比較研究

―阪神淡路大震災を例として―

兵藤 航

つくばエクスプレス開業における沿線地域の変容

―福岡県柳川市橋本を事例として―

藤井 一輝

宿場町の景観と地域活性化

―桶川宿を事例に―

保延 良太

陸軍師団司令部設置が与えた現在の都市構造への影響

―香川県善通寺市を事例に―

増田 暁仁

弘化三年における京都・鴨川の洪水の復原

―洛南・東九条付近を中心に―

松尾 眞吾

若者の購買地選択行動とその要因傾向

―関西圏の大学生を対象に―

松尾 知晃

公共交通の路線網からみた空港アクセスの変遷

―新千歳空港を事例に―

水原 荘吾

高架化が与える影響の考察

―名古屋鉄道常滑駅・太田川駅を事例にして―

村木 俊哉

京都市西陣地域におけるジェントリフィケーション

―大阪府福島区と平野区における保育所待機児童の発生要因―

室園 清音

自動車専用道路開通による土地利用の変化

―一九五〇年代以降の伊賀市を事例に―

森田 早紀

山下 克志

コンビニエンスストアの発展について

—京都市を事例として—

山下 公輔

総合プログラム

コミュニティバスの運行に関する考察

—醍醐コミュニティバスを事例として—

山根 鴻佑

漫画への規制とその歴史

中崎 慎也

石川県金沢市湯涌町における伝統文化の創造

—アニメ作品花咲くいろはを活かした地域活性化を事例に—

由谷 圭佑

学際プログラム

交通体系の変化が周辺地域に与える影響

—京都市北部における伝統野菜産地の展開—

横山 博一

創作絵本

—鷹峯とうがらしを事例に—

横山 朔子

—世代を超えて愛されるおばけ・妖精の表象—

松井 尚子

介護保険制度施行における高齢者通所介護施設の

変容

吉田 愛

日本の化粧文化にみる男性のあり方

岩本 岳

—大阪府枚方市の事例—

九州新幹線全線開通による鹿児島市中心商業地の

変化

四元 憂士

少女雑誌にみる「抒情画」の体系

尾竹花保里

—台湾とフィリピン産バナナを事例として—

陳 沢民

点の一九六〇年代

上垣外紗奈

近代京都における郊外の発展過程

—京都市西大路通周辺を事例として—

文 盛愚

終戦前後における日本国民の米国に対する意識変化に関する考察

木村 健司

先住民文化の商品化におけるエスニック・アイデンティティの強化に関する考察

—アンティグア・グアテマラにおける事例—

石井 真佑

—食糧不足との関係性から—

ルルグウィン作品とポストモダン時代のアメリカ

動物を着るといふこと

浦山 桂子

—比較

日本の就職活動をめぐるメディアの言論分析

比較

三浦 香純

—他者の評価から自分を客観視する—

植田 絵梨

—食糧不足との関係性から—

ルルグウィン作品とポストモダン時代のアメリカ

点の一九六〇年代

上垣外紗奈

20世紀におけるロシアプロパガンダポスターの独自性とその由来

—政治と共に変化した劇場—

野田七生子

吹奏楽におけるジェンダー

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

荒川 郁美

より豊かな京都観光に向けた新しい価値創出

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

浅井 萌子

ミスコンからみる美女の条件と社会貢献

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

生田 真理

コミュニティ形成の変容による自意識の変化

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

板崎真梨子

ルノワールの生涯と芸術

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

伊藤 理恵

画家ピエトロ・ロンギの小型作品の特徴

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

井上礼依亜

ことばの意味とカテゴリー化

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

岩口 美波

ロバの象徴性と『ピノッキオの冒険』

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

上霜 朋美

スピーチ力の理想像

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

植田 絵梨

日本人からみる中国語 中国人からみる日本語

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

浦山 桂子

動物を着るといふこと

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

大兼 菜摘

変わりゆく「旅」のスタイル

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

大原 里美

オノマトペが与える心理的影響

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

加藤 千佳

バレエとキャバレー

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

神野 美穂

ことわざの重要性

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

亀岡 久嗣

—日本語と英語のことわざ比較—

唐川 雅衣

劇場空間の存在と上演時間という拘束

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

河合 誠也

ヨシツブ・ブロス・チトーの手腕

—「観光」と「生活」を結ぶ媒介者としての学生の視点から—

河合 誠也

- ストリートダンスと人種差別 河合 悠樹  
 人々の暮らしと賭博 木村佐和子  
 環日本海エリアの海への認識 木村 昌平  
 腐女子の現在 岩元 舞  
 関連性理論から考察する現代広告のことは 黒川 佳穂  
 ダンスと風営法 古長 真雄  
 Wandering a Wonder Museum ヴァレリーの 小林 裕翔  
 「聖なる悪寒」を求めて 斎藤 惇希  
 京都国際マンガミュージアムを通して見るマンガ 齋藤 遼  
 学についての研究 坂本 祐理  
 日本のかわいい文化 神仏習合の建築・空間  
 ペロー童話が与えた影響 一八幡造の建築と空間における習合現象に関する考  
 察一 佐藤 祐香  
 効果的な話し方 塩崎さつき  
 映画でみる台湾人のアイデンティティ問題 四童子春香  
 『ハリリー・ポッターと賢者の石』における日英言 嶋津 優貴  
 語文化比較 ライブハウスとクラブの音楽空間としての違い  
 杉本 清香  
 「トリップ感覚」を引き起こすことば 杉本 理子  
 文字の視覚的効果における、マスメディアと活用 鈴木木代子  
 レトロブームとノスタルジア 世代論から見る② 高橋 希実  
 つの「過去」
- 古代ギリシアにおける「共通語」の成立とその社 会的背景 竹下 哲文  
 動物の画像表現 田中 亜実  
 —動物観を辿る— 田辺 早紀  
 英国アール・ヌーヴォーの独自性 月村 千愛  
 『星の王子さま』から見るサン・テグジュペリの 愛と死 豊浦 春子  
 日本が誇る武道の歴史と展望 鳥居麻衣子  
 韓国社会と日本語 英語における前置詞のイメージ・on in at に焦点 中西 直之  
 を当てて 平安時代の色彩文化から日本の色の源を探る 中野 寛子  
 恋愛における文字コミュニケーションの効果 面嶋 楨  
 『やぶの戦い』におけるユニコーンの役割 西城佳菜絵  
 なぜ音楽を持ちあるくのか 野際 春香  
 アール・ブリュットの展開と需要 アンナ・ゼマーンコヴァーについて 能瀬由芽子  
 三四郎のアイデンティティ 内在する二つの自己 畑山 靖太  
 音楽と芸術 音と色から芸術のあり方を考える 林 真央  
 ギリシアの神殿建築とバルテノン神殿の特異性 林 実優  
 映画やドラマにおけるセリフの効果 林 理沙  
 中世ヨーロッパにおける色彩イメージ 早瀬 真子
- 21世紀商業音楽論 メタ複製技術時代の音楽製作 メディアと現代の日本語表現 堀川 晃弘  
 化粧に対する女性の意識 堀谷 広大  
 アイドルビジネスと音楽市場 前田 好絵  
 人形との共存 抱くのは畏怖か、憧憬か 牧迫 愛実  
 小林一三の文化事業と都市づくりとしての文化政策 升本 早紀  
 日本語の発音と日本語教育における音声教育 松本 祐香  
 国民文化から読み解くイタリア人の国民性 松山 佳代  
 「観る」「観られる」という演劇の構造について 南野未菜美  
 流行からみるファッション用語の移り変わり 三村 育子  
 少女漫画ヒロイン像の変遷 宮本 聡美  
 競馬のエンターテイメント性について 梁守美保子  
 「あいたい」という言葉に関する考察 山形 一貴  
 コミュニケーションにおける上下関係 山本有希子  
 日本近代建築の変遷 湯川 大地  
 京都と横浜の近代化への歩み 吉岡 佑毅  
 日本のオーケストラとその展望 吉崎 玲  
 地域住民と祭りの関係性 吉村 美甫  
 日本における大衆音楽のジャンル 真鍋 仁  
 日本における英語教育の今後 松本 慎平  
 日本における英語教育の今後 齊藤 英里

時禱書からみる15世紀の書物文化 野村 眞里  
古書の聖地 ヘイ・オン・ワイ 秋山 咲弥

### 国際プログラム

観光とイメージ 日本人の楽園グアムを事例に

政田 菜月

日本の少子化と外国人移住労働者受け入れに関する考察 久保 達哉

敦谷 友衣

日本における幸福度の応用 アメリカと広告 消費社会のプロバガンダ

徳山 陽介

日本人の異文化不適応問題 ベネットモデルの視点から 平岡 萌花

映画『チート』における「日本人」表象 その歴史的背景をめぐる一考察 前田 春美

日本における外国人留學生に関する研究 吉田 拓実

アメリカナイズされた世界 —ハリウッド映画による世界のアメリカ化— 東 里穂

### Growth Through Study Abroad:

The Differences Between High School and

University Students 新井 美玖

バン格拉ディシユにおけるBOPビジネスとその可能性

〜マイクロ・ファイナンス、グラミンと民間企業の

連携〜 池内さやか

市場経済と文化 資本主義に徳はあるのか

生駒 紘平

ラテンアメリカ・スペイン語と先住民社会 征服によって生まれたもの 伊藤 千夏

京都住民の観光客に対する意識調査

—京都観光化のメリットとデメリット— 今川 紅杏

日本への外国人留學生はどのように日本人の影響を受けるか おもてなしの国際比較 今藤 倭子

—中・韓留學生へのインタビュー調査から—

日本のアパレルセレクトショップの海外進出の可能性について 上原 麻由

—ユニテッドアローズとユニクロの比較から—

ガストロノミー「美食」のゆくえ フランス料理 遠藤紗代子

の軌跡、今、そして未来へ 大川未紗季

女性の社会進出と男性の家庭進出 太田 良子

インドの癒しの医学 ーアーユルヴェエダを取り入れた生活改善— 大林由香里

イギリス新聞史からみる紙のゆくえ 英ガーディアン紙の事例を中心に 大纏 真紀

観光産業と人との共存を目指して ー環境に優しいエコツーリズムの課題点と将来像— 奥谷 信輔

京都の花街における伝統と景観—上七軒の町並み 保全活動を例に— 笠谷 侑加

アメリカの宗教右派

—大統領と宗教右派の関係から見る政治と宗教— 加藤 友章

LCCの普及と空港活性化について 加藤 光穂

—茨城空港・関西国際空港を事例に—

漫画「ピーナッツ」が描くアメリカ スヌーピーと生きるもうひとつの世界 岸本奈津美

日本の食卓の西洋化 ー京都のパン— 草野 咲子

活字文化の変容 本が紡ぐ知識とコミュニティ

アメリカ西海岸における日系人 黒川雄一朗

—強制収容・第二次世界大戦にみる日系人の歴史—

パウロ・フレイレの識字教育 その日本語教育への援用 黒瀬 友梨

「援助」と「開発」に伴う新自由主義の導入はフィリピンに何をもたらしたか 郡山 翔平

ヴァンテージと骨董品 アメリカと日本の古物市場の比較を通じて 塩田 潤

日本における韓国文化の受容 嶋口 仁菜

—K-POPが繋ぐ日韓— 嶋田 里穂

ハリウッド映画のなかのアラブ民族表象が創るイメージ 鈴木 利奈

ショッピングセンターは本当に地域コミュニティを崩壊させたのか 高瀬 恵

米国医療の保険制度改革 ー生命倫理の理想を目指して— 高橋 晶紀

立命館大学文学部卒業論文題目

吃音の在り方とは

〈吃音者と社会の向き合い方を通して考える〉

武内 那奈

アメリカ戦争映画からみる日本人

着飾る身体

かわいしいニッポン 消費社会における少女たち

樽井さおり

消費社会と外来祝祭 日本におけるクリスマス

商業化をめぐる

樽見 彩加

Japanese University Students' English Vocabulary Learning Strategies 富成安友美

BO Pビジネスの持続的発展に向けて

— 戦略的モデルと住民参加 —

豊谷 陽子

平成における天皇観

— 国内外における天皇観の変遷とその比較から —

中尾 智樹

ドイツと多文化主義 教育から考察する社会統合

のゆくえ

中根 理紗

日本におけるスローフード文化に関する考察

アメリカにおける人種差別の歴史 HIPHOP から考える

銃社会アメリカ

— 進まぬ銃規制をめぐる争い —

ハリリー・ポッターとキリスト教 ファンタジー

文学の宗教性をめぐって ノイベルガー・巴奈

日本の観光立国への道 〈訪日外国人旅行者の増加

を指して〉

橋本 佳奈

BO Pビジネスを行う企業目的

— 貧困解決か、利益か —

Teaching Roomaji and English Activities in

Japanese Elementary Schools

他国から見る日本の英語教育の在り方

衛生教育から貧困のスパイラルを断ち切るには

アメリカサブプライムローン問題

— 市場の暴走と不十分なリスク管理 —

変容する家族アニメ「cowboy bebop」が提起す

る新たな世界像をめぐる

アメリカの「自由」と「愛国心」 9・11による

価値観の揺らぎ

子どもへのストレスマネジメントについての考察

2020年東京オリンピック開催における経済効果

9・11と日系アメリカ人強制収容の歴史から始

まる平和活動

テレビ広告が変わる

CSRと地域開発

— 観光産業振興のためのCSR活動の有効性 —

京町家カフェの京都観光に対する効用

日本におけるフェアトレードの現状

— 大学生へのアンケート・店舗調査をもとに —

グローバル化に伴う文化変容とその影響

〈日本の伝統文化の変遷から学ぶ〉

学生と徴兵制 韓国人学生との交流を通じて

パリ、芸術と(して)生きる街

中国市場における日系企業の広告表現についての一考察

English Learners' Knowledge of Word Roots and Vocabulary Acquisition

BO Pビジネス普及拡大に向けた課題と対応策

本来のボランティア精神とは何か

中国残留孤児の老後と心のケア

Japanese University Students' Attitudes toward World Englishes

宮原はるか

桃井 絢加

大和 風香

東田 和太

東原 麗穂

藤 美津紀

堀越 耕平

前崎 彩

松岡 梨紗

溝渕 莉加

宮原はるか

桃井 絢加

大和 風香

東田 和太

東原 麗穂

藤 美津紀

堀越 耕平

前崎 彩

松岡 梨紗

溝渕 莉加

宮原はるか

桃井 絢加

大和 風香

東田 和太

東原 麗穂

藤 美津紀

堀越 耕平

前崎 彩

松岡 梨紗

溝渕 莉加

宮原はるか

桃井 絢加

ボーイズファンタジー 男色の変遷と腐女子の台頭

森谷 海帆

架空の選択場面における報酬金額の大小と選択機

姫野 達史

大学生を対象とした精神障がい者に対する社会的

距離

生内 瑠子

## 心理学専攻

他者からの受容・拒絶経験と自尊心、自己愛及び

攻撃性の関連

西村 彩

大学生における抑うつと攻撃性の関連

目々澤 有

大学生を対象とした精神障がい者に対する社会的

顔の認知が視線方向による注意シフトに与える影響

荒木 康孝

教育実習生の志望動機の揺れ動きに関する研究

矢萩 雄俊

高校生投手のブルペンでのピッチング練習におけ

ビデオモニタリングを用いたライフル射撃におけ

る初級者の立射姿勢改善と競技成績の向上

大貝 司

広汎性発達障害を持つ成人の障害受容過程と必要

とされる支援

救護施設における生活支援員のストレス要因

幾何学的錯視に及ぼす配色効果

船引 大輔

AAC装置を用いた、ヒトーイス間のコミュニ

ケーション支援

防衛的悲観主義が対人不安に及ぼす影響賞賛獲得

スに及ぼす影響

飯田 哲平

介護老人保健施設における入所者家族の心理的負担

高山 仁志

LINEを利用したダイエット食品選択行動の強

ソーシャルネットワークにおける人間関係

木積 弘樹

入所者家族のQOLと施設職員の語りより

朝倉 由衣

教師志望学生における障害児・者に対する態度に

理的競技能力との関係性

―「強い」といわれる選手はなぜ強いのか―

和田 力也

反復測定による影響―

荒井 将多

模擬喫茶店舗の実習を通して発見された障害がある

遅延の価値割引によるセルフコントロールと時間

岩本 康平

フォークラス・リーディングスパンテスト及び非

フォークラス・リーディングスパンテストにおけ

高等部生徒における伝票計算のためのカイゼン

的展望の関連について

岡本 大輝

高齢者の「ことわざ」における知恵

新井 智大

大学生におけるユーモアコピーングとパーソナリ

相互作用のある成員間における外集団脅威条件に

おいての内集団ひいき行動について

徳井香代子

聞き取り調査による大学生との比較―

有山 友梨

花物及び香り作業効率に与える影響について

首の状態が抑うつに及ぼす影響

有吉佑加莉

上田ツカサ

江原 一輝

## 完全主義の発達モデルの再検討

— 周囲からの影響に着目して —

遠藤 祐希

父親不在が青年期女性の恋愛感に与える影響

大西 杏奈

大学生におけるネガティブな自己開示への抵抗感

大面 里実

と自己意識特性との関連

岡田 杏奈

接近回避行動による潜在的態度の変容

岡田 萌

— 持続性と一般化の観点から —

絵文字付きメールが受信者の感情に与える影響

小川さとこ

インターネットが攻撃性に及ぼす影響

小川さとこ

日本におけるアニマルセラピーの受容と展開

〜レゾナンソンの『the dog as a “co-therapist”』から

50年〜

荻須真結子

大学スポーツと動機づけに関する研究

奥川加奈子

— 課題分析スキルとの関連から —

スマートフォン全盛時代における大学生のイン

ターネット依存について

大学生の質問行動を促進するための生成過程への

介入

大学生における浮気のボーダーラインについて

小畑 汐里

TEMを用いた摂食障害である状態の検討

— 拒食症経験自認者へのインタビューから —

ストレッサーが看護師のバーンアウトに及ぼす影響

樋谷 輝

## 漢字のゲシュタルト崩壊の生起要因の検討

加藤沙也佳

幼児の遊び道具による操作のちがいにに関する実験

観察

— ボールの種類に着目して —

神山美菜子

大学入学時の不本意感が満足感に変容するプロセス

スの研究

— 不本意入学者の語りを通じて —

河合 莉奈

ハンドボールの試合時における“あがり”への対応

基礎研究

川島莉加子

大学生への回想法による中学生の友人関係と非行

の関連

— 集団非行に焦点をあてて —

川福 理沙

— 日中韓の比較より —

東日本大震災後の福島訪問の経験価値

— ボランティア主催者・参加者双方の視点から —

川村 朱音

合成顔の女性化強調が魅力評価に及ぼす影響

— 被験者と顔刺激が同性の場合に着目して —

河村 智也

対人認知における顔と手書き文字の影響

岸上 愛弓

外食場面における個食のマイクログラ

ファイ

北野 吏絵

大学生の対人恐怖心性の規定要因

— 母親の過保護・過干渉とアイデンティティ拡散の

影響 —

## 親からの期待と大学生の精神的・身体的健康との

関連性

— 期待に対する大学生の反応様式に着目して —

具志堅茉莉江

大学生の気付きを促すことによる敬語理解の支援

小林 季世佳

新規対象の描画が幼児の知的リアリズムに与える

影響

小林 景子

自尊心の高低が友人関係に与える影響

小林 直彦

口角角度の変化における笑顔の印象の違いについて

酒井 哲也

小学校2年生における算数文章題の解決の支援

— 自己の視点を導入させることの効果 —

榊原 貫太

親密な関係の祖父母と死別体験をした孫の心理的

過程の検討

— グリーフワーク、ソーシャル・サポートによる心

理的効果を踏まえて —

佐々木彩乃

過去の居場所と現在の自己受容感との関連

— 居場所の心理的機能の充足 —

佐々木萌美

認知資源と動機が態度変容に及ぼす影響

佐藤 安美

価値割引におけるギャンブル依存度と危険回避度

の関連性

澤野亜佑美

大学生のインターネット依存と睡眠の関連について

塩崎 友貴

金銭・時間・労働の価値割引率の差の検討

塩原 学

- ラベルから与えられたイメージが味の感じ方に及ぼす影響 重住 宙
- 笑いをもたらすストレス予防効果 嶋田 麻里
- 相互作用とキーワード利用が要約文の質の向上と文章理解に与える影響 清水 理沙
- 絵本の挿絵の色が幼児の物語理解に与える影響 白井菜美子
- 高テスト不安者の課題遂行を支援する自己効力感の促進について 白井 梨恵
- 大学生の語りからみた被受容体験による心理的変化 —他者を通しての自己受容の観点から— 新谷 知美
- 半構造化面接を用いた幼児の年少者に対する養護性に関する研究 杉山 涼子
- 食事場面における幼児と親の相互交渉と養育態度の関連 —遊び場面との比較を通して— 鈴木 美沙
- 質問作りが統計技能習得に及ぼす効果の検討 —課題分析を用いて— 高井 皓介
- 幼児の言語的・物理的攻撃場面における善悪判断について 高橋 勇翔
- 書籍の表紙の色が読書意欲に及ぼす影響 高松 里恵
- 意図学習状況におけるBGM文脈依存効果・二重課題法を用いた検討 瀧野あかね
- マインドフルネストレーニングが大学生のパフォーマンススペースに与える効果 竹内 証
- 特性不安尺度との関連から—
- 事情聴取時における聞き取り役の効果的な方法の検討 武山 愛
- 高校生の歴史学習における効果的なノートテイキング方略 —ノートを見直す際を事例として— 田地川正隆
- 「発表用ワークシート」と「振り返りシート」を用いたゼミの活性化 立花 周太
- 指先のテーピングが中高生の短距離走の走法に及ぼす効果の研究 〆 視覚的手がかりによるタイム向上に向けた取り組み 田中 宏和
- 認知主義的学習観の教示が学習意欲及び学習成績の向上に及ぼす効果 —誤った学習観を持つ中学生への指導— 田中 竜太
- 小学校高学年における割合概念理解の妨害要因の検討 —等全体のインフォーマルな知識に着目して— 田邊 清夏
- トークンシステムをもちいた家庭内の片付け行動の促進 田村 彩佳
- 自閉症スペクトラム児(疑い)における社会的相対相互作用行為の変化 —簡単な音読・計算課題の取り組みを通して— 佃 美咲
- 対人関係における類似性 —仮定された類似性傾向— 津田 綾香
- A児童養護施設における学生ボランティアの有用性と可能性 —正規職員と学生ボランティアの語りを比較して— 筒井ひかり
- 社会的カテゴリ化に対する既知性・有名性の影響 「おこられる場面」における心理的負債に影響する要因 徳久 千尋
- 女子大学生における過剰適応傾向と家族機能との関連 —母娘関係に着目して— 堂園 美帆
- 大学生における自己の身体満足度と理想体型について 学習経験のない漢字を学習する際のモデリングの効果 中井 翔一
- 大学生におけるソーシャルサポートが主観的幸福感に与える影響 中島 結香
- 顔文字から解釈される感情および強調における性差の検討 中瀬裕太郎
- 文脈効果に変化の見落としに及ぼす影響 中道 有紀
- 身体柔軟性におけるイメージトレーニングの効果 —自己効力感との関連において— 中村 絹恵
- 強化スケジュールの違いが自己ルールの記述およびスケジュール感受性に及ぼす影響 中村 敏
- 香り情報がストレス緩和に及ぼす影響 —唾液中アマミラーゼαによる生理的指標を用いて— 中元 和歌
- ソーシャルサポートと恋愛関係 崩壊場面に対する反応との関連 中山 新
- 鑑賞頻度と対人不安との関連性についての研究 長村 春奈

BGMのテンポの違いが時間の知覚に与える影響  
について 長森 彩

児童自立支援施設入所児童における家族認知と動  
的家族画の特徴の関連 成瀬美哉子

認知的負荷がもたらす洞察メカニズムの検討  
—8枚硬貨問題を用いて— 西田 勇樹

居場所の持つ心理的機能とアイデンティティとの  
関連

—社会的居場所・個人的居場所に注目して—

西山 恭子

しぐさによる人物印象評定および脳波への効果

野口亜津子

グラデーションによる誘導効果の検証 野口 亨子

自己呈示行動に対する自己卑下呈示規範の影響

波多江友紀

女子大学生を対象とした、スポーツにおけるビデオ  
オモニタリングの効果

—バスケットボールのフリースローのフォームト  
レーニングに着目して—

服部 陽子

手がかりの違いが、想起される自伝的記憶の特定  
性に与える影響

林 明日香

身体動作による感情表現の評価と理解 林 真希

レンタルビデオ店における提示されるPOP広告  
の内容によるレンタル数の変化に関する研究

林 里穂

皿の色が料理写真に与える影響

林田 拓馬

スピーチ場面のあがりに対するバイオフィード  
バックの効果

原田小百合

自閉症傾向とPerspective-taking課題との関連

—自閉症スペクトラム指数(AQ)を用いて—

原田 有規

親子間コミュニケーションと大学生における親へ  
の甘えとの関連

—中学生時代の親子間コミュニケーションの回想を  
通して—

平田 早紀

夢から見る対人関係・環境による心理状態の背景

—中学生時代の親子間コミュニケーションの回想を  
通して—

福井裕里栄

各発達段階における対人恐怖心性の特徴

—青年期、成人・中年期、老年期の比較を通して—

藤井 彩瑚

若者における人当たりの良さとして自己肯定感との関連

武道 雅史

共感性や怒りの特性および表出傾向と友人関係と  
の関連

—主観的ウェルビーイングの観点から—

細見 昌弘

文字を使った会話における方言と共通語の切りか  
えが話し手の印象に及ぼす影響

増岡 美穂

日常生活スキルと拒否回避欲求の関連

—公的自己意識に着目して—

増谷 優

高校生の意見文作成における概念地図の効果

松坂 美希

自閉症児における文脈に基づく表情理解

—簡単計算・音読課題を用いた介入の効果の検討—

松島 加苗

大学生の友人関係における被依存欲求の検討—依  
存欲求と自己価値観との関連から

松永 洋祐

教師のことががけが中学生の学習意欲に及ぼす影響

松宮 央

青年の愛着スタイルと友人関係における同調行動

松本 瑞穂

父親との関係性の認知が息子の親準備性形成に与  
える影響

—子をもたない成人期前期の社会人男性の語りから—

真鍋 拓司

Doll Location Testを用いた家族関係認知と青年  
期における独立意識の関連性

見植 史弥

皿色が食欲に与える影響

三浦布由佳

青年期の自己愛傾向と友人関係における「居場所  
感」との関連

水越 秋恵

—「過敏型」の自己愛に注目して—

高齢者介護福祉施設における音楽活動のエスノグ  
ラフィ

—音楽が広げるコミュニケーション—

宮地均三代

漢字・ひらがな・カタカナの違いが単語の再生に  
及ぼす影響

宮本 一輝

児童期における友人関係の変化と役割

—小学4年生から6年生の作文を通して—

向川 奈穂

絵本の読み合わせが1人暮らしの女性高齢者にも  
たらず心理的效果および心理的過程

村上 歩未

大学生のギャンブル依存の実態と生活環境に及ぼ  
す効果

森口 智

一回限りの囚人のジレンマにおける協力行動

森口 大乘

- 性同一性障害を子に持つ母親の心理的プロセス  
 —半構造化面接による検討— 諸見 麻妃
- 迷惑駐車の軽減について…「前進駐車」はなぜ守られないか? 八木 恵梨
- いじめの発生子防と早期停止の効果的な対応  
 —いじめ経験の回顧から— 安田 遥
- 大学生の友人関係における表面的同調と適応感の関連  
 —友人との親密さに注目して— 藪野 孝規
- 大学生におけるコミュニケーションスキルおよび友人関係と大学適応の関連について 山崎 由衣
- キャリア教育が大学生にもたらす効果 山中 里沙
- 無料配布品の個数制限が商品評価と持ち帰る量に及ぼす効果 山本 明音
- 幼児を取り巻く環境が「将来の夢」に及ぼす影響  
 —半構造化面接を用いて— 山本 佳奈
- 子どもの巣立ちをむかえる母親の心理的变化とその関連要因  
 —就職を控えた娘をもつ母親の語りから— 山本 更紗
- 大学生の居場所感が心理的適応・学校適応に与える影響  
 —対人関係上の居場所に着目して— 山本 春菜
- 硬式テニス初級者のサービスマンに及ぼすビデオモデリングの効果 山本 祐希
- 自己受容とソーシャルサポートの関連が主観的幸福感に与える影響 吉田 爽耶
- 大学生におけるポジティブ・ネガティブ感情と心身の健康の関連 吉本 卓矢
- 大学生の体罰に対する意識調査とその形成過程についての検討 吉本悠里有
- 母子・きょうだい間関係について  
 —ITPテスト・インタビューの分析からみる性格の類似性— 米田 郁恵
- 勤務形態による介護福祉士のストレスとそのケアの相違  
 —特別養護老人ホームと老人デイサービスとの比較— 尹 榮淑
- 家出青少年における家族の意味に関する考察  
 —韓国の家出青少年シエルダーに居住中の4人の少女の語りより— 朴 英珍
- 大学生の自尊感情形成に家族外の対人関係が及ぼす影響 柳 載敏
- 中国都市部における外来移住者の未成年犯罪の背景と原因 逢 源
- 未成年犯罪者のライフストーリーにみる犯行の誘因と予防策— 逢 源
- 外国人日本語学習者における敬語理解の現状及び支援  
 —「ソト」と「ウチ」の概念提示の効果— 陳 嘉祺
- 退職教員に捉えられる退職の意味と生活課題の検討 中本 友梨
- 表情の違いが顔と名前の連合記憶へ及ぼす影響 浅野 龍平
- 思考の文化差と個人差 船橋 ゆい
- ボーガスパイプラインを使用した日本人の自己高揚・自己卑下傾向の研究 薄葉 文香
- 生きる意味と目的から捉えた人生態度の検討  
 〈主観的幸福感との関連〉 加持 萌
- 学習療法が施設入所中の高齢者の認知機能、前頭葉機能、日常生活行動、実行機能に及ぼす影響 下本由香里
- 中学社会科の資料活用学習を支援する情報伝達文産出の効果 山本 泰行
- 京都学プログラム  
 幕末維新期における松尾社祭礼の変容 内田 詩織
- 稲荷信仰における信仰内容の変容  
 —京都と江戸の比較による一考察— 齋藤 慎介
- 幕末維新期における京都の出版文化  
 路線バスの地域特性 上乗 菜央
- 西日本ジェイアールバス高野・京北線を中心に— 吉田 晃輝
- 京都の近現代における交通混雑の変遷 青山真由美
- 京都において出現したヤミ市の実態 東 亜佑美
- 山科駅前地区における商業集積の特性  
 —市街地再開発事業以降に着目して— 五十嵐達矢
- 映画館衰退を背景として— 石毛 絢子
- 京都市における着物レンタル店の立地特性 出石日向子
- 京都における地域住民参加型音楽祭の人的ネットワーク  
 ワークの変容と地理的空間の形成過程  
 —西院ミュージックフェスを事例として— 稲葉 里穂

## 物語の真正性と文化観光

— 京都イメージとしての新選組をめぐって —

井上 未晴

近松秋江「京都三部作」の研究

井上裕美子

日本における「京おんな」イメージの変容

大家 弘地

GISを用いた京都の城郭からの眺望分析

大野 史織

京都観光における季節性の表象と実態

— J・R東海「そうだ 京都、行こう。」キャンペーンから —

加藤 早紀

京都における女性の観光スタイル

— 「an・an」「non・no」「るるぶ」の分析から —

柄澤 綾佳

受け継がれる伝統

— 京からかみを事例として —

川上 里沙

日本の伝統産業における西洋文化の流入

— 京菓子を事例として —

河野 真奈

現在の「はねず踊り」が地域連携にどのような意義をもたらしているのか

— アニメと漫画におけるキャラクターの重要性について —

北口 佳歩

伝統産業を残していくために

— 西陣織に注目して —

熊安美沙樹

三島由紀夫『金閣寺』論

— 心象の金閣の美の本質 —

藏藤 寛

内裏における阿国歌舞伎上演の再検討

古池 泉美

島崎藤村と「京都」

小池 昌裕

比叡山観光の現状とその要因

小泉 大河

中世京都におけるキリスト教布教の実態

— 九州・山口・堺との比較から —

小嶋 綾華

日本民謡から考える伝統文化との折り合い

— 淀川三十石船唄を事例に —

坂崎 守寛

京都市の観光地における土産品販売店舗の立地展開

— 「よーじや」を事例にして —

下り藤早紀

京都におけるわらべ歌の発生と普及の背景

— 「京焼け」を事例に —

佐々木 結

京都・西陣における地名と「空間」の関係およびその現状

— 看板・「地名建物」に注目して —

佐藤 翔哉

取扱商品からみたコンビニエンスストアの立地特性

— 「京都関連商品」を事例に —

繁 篤樹

路面の石畳舗装による景観保全の現状と社会的背景

— 京都市を事例にして —

柴田 萌絵

庭者に見る価値観の変遷

— 京都市における屋外広告物の色彩および建築意匠の誘導による修景状況について —

鈴木 啓祐

明治期における円山界隈の国際的意義

— 宿泊施設に着目して —

主原 知弥

新たな定期市「手づくり市」の増加とその背景

— 京都市を事例として —

高木 沙綾

京都市における建碑事業とその社会背景

— 京都市教育会の史蹟表彰事業を中心に —

塚田なつみ

川端康成『古都』論

— 聞き取り調査より明らかとなったこと —

常木 佳奈

現代の京・加賀友禅に関するデザインの定義

— 聞き取り調査より明らかとなったこと —

出町真由子

京友禅の海外進出

— 聞き取り調査より明らかとなったこと —

戸嶋 麻裕

吉田流下部氏の発展と公武社会

— 聞き取り調査より明らかとなったこと —

内木 聡子

京都における時の文明開化

— 聞き取り調査より明らかとなったこと —

中島 恵理

中世における隠棲地嵯峨の都市開発

— 聞き取り調査より明らかとなったこと —

永井 啓麻

市電廃止からみる京都の交通事情

— 市電をまもる会と行政の動きに着目して —

永治 桃子

京野菜を中心としたアグリビジネス

— 嵯峨青果食品と契約農家を事例として —

根岸 俊輔

京都に向けられる「まなざし」

— 海外から見た戦国期京都の茶の湯 —

野口 由佳

『ルウエイの森』と京都

— 典拠としての上田秋成 —

橋本 果奈

橋本 有佳

— 国勢調査小地域集計に着目して —

樋上 隆亮

伏見における町家改装店舗の活用と景観の保全

— 美観地区を対象として —

菱本 有希

西陣織の在るかたち

— 京都市における宿泊施設の立地展開にみる特徴と要因 —

平 香里

京都における近代化遺産へのまなざしの変遷

— 京都市における近代化遺産へのまなざしの変遷 —

藤田 智也

観光政策をめぐる商店の対応

— 京都市立龍池小学校跡を対象にして —

不破野杏里

堀 亜紗子

児童書からみる公共図書館の特徴

―久世ふれあいセンター図書館と醍醐中央図書館を

事例に―

御土居堀の現在と課題

小京都について

京都でいきる鍾馭像

―供養のあり方から見る鍾馭信仰の現在―

永長大田楽の発端と実態

一九九〇年以降における町家の店舗利用の変遷からみる現状と持続性の解明

―京都市上京区千両ヶ辻地域を例として―

日本の伝統産業を後世にのこすために

―京・加賀友禅を事例にして―

舞妓変身と社会

フィットネスクラブの立地展開

―京都市を事例にして―

申うということ

―現代京都の葬儀からみる意識の変容―

幕末・新選組を背景に描く群像劇の小説

―多角的に捉える「信じる力」―

待遇表現教材「日本語上手」

レイテ地上戦を主軸とした小説

―戦死者の家族が紡ぐ物語―

からかい歌からみる方言と地域性

親しくなろう！関西弁！

京都観光のための文化学習WEB教材

新しい観光ガイドの在り方

日本語多読学習支援の有用性

―自主的な多読のために―

待遇表現教材「日本語上手」

高本理生『ナラタージュ』における回想形式の特徴

児童書としてのハリーポッターと賢者の石の朗読

日常生活らくらくブックを制作するにあたって

音声表現 子供向けラジオドラマの制作。タイト

ル『ゆめくいおぼけ』

からかい歌からみる方言と地域性

大学一回生の書いたレポートにおける語順の特徴

AKB48のSeventeenの歌詞を基にしたラジオ

ドラマの制作

立命館大学文学部開講「異文化間コミュニケーション

ション演習・日本研究」を対象とした副教材

立命館大学文学部卒業論文題目

和田 健哉

加藤 駿

加藤 駿

加藤 駿

テレビショッピングの表現形式と今後の発展性

北口ひかる

関西方言における若者の方言意識

ドラマで学ぼう！ネイティブ日本語

―日本人をあとと言わせる6つのレッスン―

京極 優花

古典作品をテーマとしたラジオドラマ制作

窪田 椎奈

新しい観光ガイドの在り方

熊野 友紀

The Use of Can-do Descriptors as a Framework for Japanese Senior High School Writing Classes

河野 賢人

企業の販売促進プロモーションのためのTwitterにおける文章表現

後藤美乃里

―共感させるつばやきとは―

新しい観光ガイドの在り方

酒井 翔平

オバマ米大統領の表現伝達とコミュニケーション力

坂本 周弥

国語科教育における日本語教育の活用

澤田 友梨

キャラクター小説『浪人青年はかく語られし』

―ニーチェの語る「自己」の意志と、「神が死んだ」

後の世界―

清水 克洋

小説「怪物のいた庭」

―いじめを背景とした自己確立について描く―

新谷 瑞輝

木村ひかり

## 道成寺

～大曲、道成寺の魅力～

竹内佑輝子

誰も知らないもうひとつのおとぎ話

武田 実果

親しくなろう！関西弁！

谷口百合香

日常生活らくらくブックを制作するにあたって

谷本 麗菜

国語科教材の説明的文章における対話の存在

田村 恵

待遇表現教材「日本語上手」

千村美紗季

AKB48のSeventeenの歌詞を基にしたラジオ

塚野 友海

ドラマで学ぼう！ネイティブ日本語

水流 成美

～日本人をあとと言わせる6つのレッスン～

藤部 麻弥

漫画におけるオノマトペの日英比

中西由香里

中国語母語話者のための日本語音声教材制作

西村 真緒

京都観光のための文化学習WEB教材

野木 愛里

キャンペーンにみるキャッチコピーの有り方と波及性

橋本 有以

乙女ゲームにおける音声の有無と感情移入

平池 美帆

映像を使って学ぶ大学留学生のためのオノマトペ

福井 芽以

やる気に繋がる言動とその特徴

藤田 麻鈴

流行語が語る日本人特有の文化と今後の展開

麻鈴

AKB48のSeventeenの歌詞を基にしたラジオ

ドラマの制作

布施 柚花

誰も知らないもうひとつのおとぎ話

前田 舞

トークバラエティ番組における関西人司会者と非

関西人司会者によるコミュニケーションスタイルの違い

町田 弥玖

古典作品をテーマとしたラジオドラマ制作

松永 安奈

日本語の表現の幅

～若者雑誌における「ひらがな表記」の効果～

松本 玲奈

ロールプレイング・ゲームにおける感情移入の工夫

～FINAL FANTASY IXのセリフ表現～ 水野 真記

立命館大学文学部開講「異文化間コミュニケーション

シオン演習・日本研究」を対象とした副教材

映像を使って学ぶ大学留学生のためのオノマトペ

教材 皆見 綾美

音声表現 子供向けラジオドラマの制作。タイト

ル『ゆめくいおぼけ』 三宅 麻由

映像を使って学ぶ大学留学生のためのオノマトペ

教材 村井実沙紀

ドラマで学ぼう！ネイティブ日本語

～日本人をあとと言わせる6つのレッスン～

山田真梨子

オリンピック招致演説からみる非言語コミュニ

ケーション 大和 愛実

ドラマで学ぼう！ネイティブ日本語

～日本人をあとと言わせる6つのレッスン～

韓国の釜山方言と日本の大阪弁の比較分析

～イントネーションを中心に～

報道で見る日中韓の違い

ドラマで学ぼう！ネイティブ日本語

～日本人をあとと言わせる6つのレッスン～

日本語表現の多様化傾向

山本 葉月

公用文のわかりにくさにつながる文体的要因

～国民年金保険料納付に関する案内文を例に～

渡邊あかね

韓国語の釜山方言と日本の大阪弁の比較分析

～イントネーションを中心に～

報道で見る日中韓の違い

鄭 映月

女子柔道選手のセカンドキャリアについて

本居宣長の思想形成と京都

Jリーグの収入源拡大案

～輸出団化と組織統合～

「七五三」子どものファッション変遷

諸葛亮の人物像

社会情勢から見るホラー映画とその役割

メディアと沖縄観光

沖縄方言論争

The History of Language in Taiwan

火の神信仰とその変容について

～沖縄を中心に～

高校生のグループ学習におけるアサーション・ト

レーニングの効果

中島 利奈

白澤 優貴

河合 隼平

井関 桜子

青戸 駿

- 沖繩イメージを探る  
 ～観光の視点から～  
 東 祐貴子
- 自己正当化の悪について  
 前谷 春佳
- 中世北イタリアの都市国家とその発展  
 三浦 航資
- 日本人の色彩観  
 内海まどか  
 —紫をめぐる—
- メディア・リテラシー教育における「新聞記事読  
 み比べ」の効果の検討  
 加納 寛
- 「赤壁の戦い」の映像作品からみる日中での曹操  
 の受容  
 小八重美寿々
- 「氏と育ち」の関係性  
 下野恵利加
- ～優生学は悪なのか～  
 谷川実季子
- Hei Haizi: China's Hidden Children  
 谷川実季子
- 高校生の学業ストレスサーへの対処方略促進が学  
 習意欲に与える影響  
 谷本 未来
- Foreign investment in Asia: strategies to  
 promote global competitiveness  
 坪内 優
- 現代日本の三国志小説にみる曹操の人物像  
 長崎 彩稀
- ドーピング問題から見る日本ロードレースの展望  
 橋本 英人
- 三国時代の辺境独立政権  
 原田 渚
- 高校生のこころの病気に對するガイダンスの効果  
 廣田 彩
- 知的好奇心が喚起する学習への内発的動機づけ  
 泉 友里
- ～ジャンヌ・ダルクを教材にして～
- The effects of political relationship between  
 China and Japan on Japanese companies in  
 China  
 宮崎亜里沙
- 曹操の描かれ方の変化  
 宮地 佳奈
- 司馬懿の戦略  
 山下 彰範  
 —『孫子』からの影響—
- 算数科におけるホワイトボード使用の効果  
 吉野 修平
- 日本の化粧における調和の美  
 新條 樹未
- 立命館大学女子サッカー部の組織強化のための提言  
 岩本 寿
- 日本女子サッカーの繁栄を目指して—
- 竹富島の保存と開発  
 國領 茜衣
- Potential of Tourism in Malaysia: Potential to  
 Bring Prosperity to the Whole Country  
 小林 大天
- スケジュール表を用いた生徒の学習に対する自発  
 性のひきだしとその効果  
 塩根 彩菜
- 死の所有・自己決定を考える  
 橋本 理加  
 —安楽死問題から見出す、所有・自己決定の意義—
- 近世ヨーロッパにおける言語の発展と印刷の役割  
 東田 浩平
- 競技と応援の狭間  
 森田麻育子  
 ～チャリーディング界の二つの方向性～
- 柔道界におけるルール改正問題  
 山下 凜子  
 ～二〇一三年度導入新ルールを巡って～
- 視覚と競技力の関係性  
 —野球におけるピシヨントレーニングの有効性—
- 日本ラグビー発展への提言  
 梶村 忠弘
- 資格なきもの語るべからず  
 丹保 結衣  
 —オリンピックにおける適切な報道とは何か—
- 奄美の大島紬  
 中寫 紗希  
 ～過去・現在、そして未来への課題～
- 血とはかくも濃いものなりき  
 松崎 芽衣  
 —スポーツにおける家族の影響—
- Considerations on the educational history and  
 support for education in Myanmar  
 石橋 智晴
- 後漢末期における異民族騎馬戦闘集団の考察  
 泉田 尚美
- 葵祭における一考察、申餅について  
 上田 隆寛
- 陰陽師についての一考察  
 岡村 隆行
- 過疎地域に住む高校生のキャリア形成を促進する  
 ムービーづくり  
 奥野 公美
- 蹴鞠と和歌の関連についての一考察  
 武田 尚大
- The Nanking Incident  
 中越 大樹
- 重森三玲の作庭表現  
 山中 萌  
 —東福寺、松尾大社庭園を中心に—
- フェアトレードの歴史と現在から考える今後の  
 フェアトレードの在り方と可能性  
 安達 真央
- 学生スポーツにおける関西と関東のレベルの差  
 桑原 沙希

日本がワールドカップで優勝するためには

中谷喜代志

競馬人気の復活を目指して―大学生への競馬普及  
を考える

福井花奈美

漫画の世界における甲子園の姿

井奥 弦

ビジネス書にみる三国志

稲禾 泰志

本土に見る沖縄文化

―尼崎市戸ノ内町と大阪府大正区の比較から―

沖 有砂

現代スポーツのファッション

―見せると魅せる―

蔭木 貴大

奄美大島の振興開発と自立

―黒糖焼酎を中心に―

澤田 大知

高校生の地形学習におけるイラスト教材の効果

高田 洗平

沖縄県那覇市国際通りの歴史と発展

二宮 頌太

bリーグと地域密着性

―滋賀レイクスターズを事例として―

前田 茉依

中学生の部活動における意欲を高める生徒同士の

会話の効果

松葉 耀介

Desertification in China and Mongolia and its

effect on Japanese Society

山本 美紀

「レッドクリフ」についての考察

信定 加奈

現代アートと公共性について

相場 令

自転車競技と広告

石田 陽介

日本人野球選手の海外移籍に伴う問題点と新制度

の提案

岩出 大樹

Renewable Energy for Japan: An Investigation of

Deferred development

植野未沙樹

イギリス児童文学の歴史の変遷

川上麻由子

組織学の確立を目指して

―試論―

櫻井 翼

『言語起源論』に見るヘルダーの言語観

正者 路子

日本におけるソフトボールの活性化

―求められる指導者とは―

中川 智絵

神話からみる英雄視と現代人の滅びの美学

長坂ひかる

千利休の茶の精神と茶室待庵

奥田 雅

口承文学における情報伝達の意味

瀬之上絢香

Examining the Effects of "Japaneseness" as a

Historically Constructed Curriculum: Finding

the Roots of Structural Inequality and Identity

Crisis

田中 稜

アダム・スミスと日本の道徳教育

三輪 仁志

Zainichi-Koreans and "Japaneseness": Can

Japanese-Centered Society be Changed by

Academic Education?

吉田奈緒子

学生がスポーツをするということ

―経済的環境とその支援―

池浦 佳奈

部活動におけるバスケットボールの審判が抱える

問題

片山 俊貴

―資格制度と育成面における抜本的改革―

近親相姦とタブー視

―父子相姦・母子相姦・兄弟姉妹間の相姦の共通

点と相違点とは―

村井 大悟

琉球紅型の伝統

吉崎 真央

剣道 教育の場へ

―武道必修化 剣道人口増加への第一歩― 小野ひとみ

沖縄の観光振興

―リゾートウエディングのモニターツアーに着目し

て― 高木 真穂